



Taka Ishii

Gallery

6-5-24 3F Roppongi Minato-ku Tokyo #106-0032, Japan
tel +81 (0)3 6434 7010
fax +81 (0)3 6434 7011
web www.takaishiigallery.com
email tig@takaishiigallery.com

石田尚志

Biography

1972 東京都に生まれる

現在 東京都在住

<http://www.takashiishida.com>

Solo exhibitions

- 2025 「絵と窓の間」アーツ前橋（群馬）4月19日－6月22日、高松市美術館（香川）8月8日－10月5日
- 2024 「絵と窓の間」神奈川県立近代美術館 葉山（神奈川）7月13日－9月28日
- 2022 「庭の外」タカ・イシイギャラリー（東京）10月15日－11月12日
- 2020 「石田尚志」沖縄県立博物館・美術館（沖縄）2月15日－6月28日
- 2019 「弧上の光」国際芸術センター青森（青森）4月20日－6月16日
- 2018 「絵と窓の間」タカ・イシイギャラリー（東京）10月20日－11月17日
- 2015 「鎌倉から始まった。1951-2016－PART3『鎌倉近代美術館』誕生『二夜展』」神奈川県立近代美術館 鎌倉（神奈川）11月28日、29日
「石田尚志 渦まく光」沖縄県立博物館・美術館（沖縄）9月18日－10月25日
「石田尚志 渦まく光」横浜美術館（神奈川）3月28日－5月31日
- 2014 「公開制作60 石田尚志」府中市美術館（府中）2013年12月21日－3月2日
- 2013 「燃える椅子」タカ・イシイギャラリー（東京）10月26日－11月22日
- 2012 「石田尚志展」タカ・イシイギャラリー（東京）3月31日－4月28日
- 2011 「MOTコレクション：サイレント・ナレーター それぞれのものがたり [特集展示] 石田尚志」東京都現代美術館 常設展示室1F（東京）
6月11日－10月2日
「石田尚志 in 沖縄」沖縄大学 図書館ミニシアター（沖縄）5月21日
- 2009 「石田尚志作品夜間野外上映」豊田市美術館（豊田、愛知）11月8日－15日
- 2008 「Takashi ISHIDA in Person」オンタリオ美術館ジャックマン・ホール（トロント）12月3日
「Trans-Takashi Ishida」トリニティ・スクエア・ビデオ ギャラリー（トロント、カナダ）11月4日－12月19日
「INTRO A.I.R: TAKASHI ISHIDA」aspex（ポーツマス、イギリス）9月12日－10月11日
「石田尚志展－海の壁－生成する庭－」galerie 16（京都）1月12日－31日
- 2007 「石田尚志展」テンポラリースペース（札幌）8月27日－9月9日
- 2006 「アーティスト・イン・ミュージアム横浜2006 石田尚志 映像制作プロジェクト 生成する壁」横浜美術館 アートギャラリー2（神奈川）
11月3日－2007年1月28日
- 2005 「石田尚志展」sfera archive（京都）2005年12月23日－2006年1月13日
「石田尚志展」テンポラリースペース（札幌）10月4日－9日
「上映個展」アップリンク・ファクトリー（東京）2月24日
- 2004 「石田尚志展」テンポラリースペース、中森花器店（札幌、北海道）8月1日－8日

- 2003 「もっと闇を！もっと光を！ VOL.2 石田尚志 | 絵馬・絵巻」 世田谷美術館1階企画展示室出口廊下（東京） 8月26日－9月28日
- 2002 「ISEA2002協賛企画 石田尚志展－映像によるインスタレーション－」 ガレリア フィナルテ（名古屋、愛知） 10月28日－11月2日
- 2000 「第4回アート公募2000 大賞・審査員賞・画廊企画賞受賞展－石田尚志展」 モリスギャラリー（東京） 5月29日－6月3日
- 1994 「石田尚志展」 ギャラリーすどう（東京） 10月17日－25日
- 1992 「石田尚志展」 ギャラリーラミア（東京） 12月2日－12日
- 1991 「石田尚志個展 渦 うず」 フェスティバルビル7Fハーベストファーム（那覇、沖縄） 5月30日－6月11日
- 1990 「石田尚志展」 ギャラリー・5-104（東京） 8月30日－9月3日

Group exhibitions

- 2024 「アブソリュート・チェアーズ」 埼玉県立近代美術館（2月17日－5月12日）
「コレクション展1」 高松市美術館（4月6日－7月7日）
「浮世：ジャポニスムから日本の現代アートまで」 レ・フランシスケーズ、ドーヴィル、フランス（6月22日－9月22日）
「日本現代美術私観：高橋龍太郎コレクション」 東京都現代美術館（8月3日－11月10日）
「東急 暮らしと街の文化－100年の時を拓く」 世田谷美術館（11月30日－2025年2月2日）
「『〇（マル）でも×（バツ）でもないもの！』～「ARTと私」正解のない「教育普及」 沖縄県立美術館・博物館（11月1日－2025年1月13日）
- 2023 「北京・Untitled・東京（当代芸術家6人展）」 MEGAFILED（兆域空間）（11月28日－12月27日）
「美術家たちの沿線物語 京王線・井の頭線篇」 世田谷美術館（12月2日－2024年4月7日）
- 2022 「コレクションが街に飛び出す！」 MMパークビルエントランスホール（2022年8月8日）
- 2021 「コレクション展2 BLUE」 金沢21世紀美術館（2021年11月20日－2022年5月8日）
「長野県立美術館グランドオープン記念 森と水と生きる」 長野県立美術館（8月28日－11月3日）
「2021年度第1期コレクション展」 愛知県美術館（4月23日－6月27日）
- 2020 「高松市美術館コレクション+（プラス）身体とムービング」 高松市美術館（2020年7月23日－9月6日）
- 2019 「高橋コレクション展 アートのふるさと」 鶴岡アートフォーラム（7月13日－8月25日）
「タカ・イシイギャラリー開廊25周年記念グループ展：Survived!」 タカ・イシイギャラリー（6月25日－7月27日）
「百年の編み手たち－流動する日本の近現代美術－」 東京都現代美術館（3月29日－6月16日）
「ギホウのヒミツ－OJUN、鬼頭健吾、田淵太郎とともに」 高松市美術館（4月20日－5月26日）
「横浜美術館コレクション展『リズム、反響、ノイズ』」 横浜美術館（1月4日－3月24日）
- 2018 「高松市美術館コレクション+（プラス）木村忠太とこぼれる光のなかで」 高松市美術館（10月22日－2019年3月25日）
「TOPコレクション たのしむ、まなぶ 夢のかけら」 東京都写真美術館（8月11日－11月4日）
- 2017 「美術館開館10周年記念展『邂逅の海－交差するリアリズム』」 沖縄県立博物館・美術館（12月19日－2018年2月4日）
「In Praise of Shadows」 ADM Gallery（シンガポール）（10月27日－2018年2月30日）
「アブラカタブラ絵画展 Abracadabra of Drawing」 市原湖畔美術館（6月3日－7月30日）
「高橋コレクションの宇宙」 熊本市現代美術館（4月8日－6月11日）
「シャルジャ・ビエンナーレ13 Tamawuj」 アラブ首長国連邦（3月10日－6月12日）
「国立新美術館 開館10周年記念ウィーク」 国立新美術館（1月20日－30日）
- 2016 「茨城県北芸術祭」 茨城県北地域6市町村（9月17日－11月20日）
「あいちトリエンナーレ2016」 愛知芸術文化センター他（8月11日－10月23日）
「O JUN Chikanobu Ishida 14 days 119 years later」 Danielle Arnaud contemporary（6月11日－7月10日）

- 「Space In Mind – Animamix Biennale 2015-2016」 MoCA Shanghai (5月14日–7月23日)
- 「リニューアルオープン記念 高松市美術館コレクション展—いま知りたい、私たちの『現代アート』」高松市美術館 (3月26日–4月17日)
- 2015 「Nissan Art Award 2015 ファイナリスト7名による新作展」BankART Studio NYK (神奈川) 11月14日–12月27日
- 「Moving Light, Roving Sight」Ikkan Art Gallery (シンガポール) 1月22日–2月18日
- 2014 「開館20周年記念MOTコレクション特別企画 第二弾 コンタクト」東京都現代美術館 (東京) 9月27日–2015年1月4日
- 「横浜美術館コレクション選」シンガポール美術館 (シンガポール) 10月3日–2015年2月8日
- 2013 「Distilling Senses: A Journey through Art and Technology in Asian Contemporary Art」香港アートセンター (香港) 12月11日–2014年1月12日
- 「再/生」水戸芸術館現代美術ギャラリー (水戸) 12月14日–2014年2月2日
- 「Little Water」堂島リバービエンナーレ 2013 (大阪) 7月20日–8月18日
- 2012 「現代絵画のいま」兵庫県立美術館 10月27日–12月24日
- 「Hospitale ホスピタイル」旧横田医院 (鳥取) 3月17日–31日
- 「ダブル・ヴィジョン—日本現代美術展」モスクワ市近代美術館 (ロシア) 3月14日–5月9日、
- 巡回：ハイファ美術館群 (第一会場：ティコティン日本美術館、第二会場：ハイファ美術館、イスラエル) 7月21日–12月16日
- 2011 「Open-Ended Propositions」タカ・イシイギャラリー (東京) 9月3日–10月1日
- 「第2期常設展：こぼれる光のなかで」高松市美術館 (香川) 6月16日–8月21日
- 「耳をすまして—美術と音楽の交差点」茨城県近代美術館 (水戸) 1月22日–3月6日
- 「牧野貴+石田尚志」展 (ガレリア フィナルテ (名古屋) 1月16日–29日
- 2010 「ネオハイブリッド宣言2『家と軀 (カラ、ダ！)』～第3次世界大戦をのりこえるためのLOCALな道～」Vacant (東京) 11月22日・23日
- 「美の潮流 五島記念文化財団20周年記念展」Bunkamura ザ・ミュージアム (東京) 10月30日–11月7日
- 「あいちトリエンナーレ2010 映像プログラム：映像の第二世紀に向けて」愛知芸術文化センター(小ホール)9月29日・30日・10月7日のみ
- 「第2回Mediations Biennale：Beyond Mediations」National Museum in Poznań and Zamek Culture Centre (ポズナン、ポーランド)
- 9月11日–10月30日
- 「高松コンテンポラリーアート・アニュアル vol.01—もうひとつの・カーニバル」高松市美術館 (香川) 9月18日–10月24日
- 「abstract moving image」タカ・イシイギャラリー (東京) 8月24日–9月11日
- 「アーティスト・ファイル2010—現代の作家たち」国立新美術館 (東京) 3月3日–5月5日
- 「あいちアートの森：知覚の扉II」喜楽亭 (豊田市) 2月20日–3月14日
- 2009 「映像をめぐる冒険vol.2 躍動するイメージ。石田尚志とアブストラクト・アニメーションの源流」東京都写真美術館 (東京)
- 12月22日–2010年2月7日
- 「さよならポラロイド」京都会場：カフェシヨコラ 6月6日–14日、大阪会場：ギャラリー井上 6月16日–27日
- 「石田尚志展」〔「イメージズ・フェスティバル」展の一環として企画された〕Wynick/Tuck Gallery (トロント) 4月4日–5月2日
- 「第1回恵比寿映像祭 オルタナティヴ・ヴィジョンズ“映像体験の新次元”」東京都写真美術館 (東京) 2月20日–3月1日
- 「激情心霊」台北市立美術館 (台湾、中国) 1月24日–3月29日
- 「プロジェクトンズ 石田尚志、河村勇樹」モントリオール現代美術館 (ケベック、カナダ) 1月14日–3月15日
- 2008 「タイムスケープ もうひとつの時間」愛知県美術館 (名古屋) 8月8日–10月5日
- 「Artprojx企画 ドロウイング・フィルム」Artprojx at Late at Tate Britain (ロンドン) 5月2日
- 「モーメンタリー モーメンタム：アニメイテッド・ドローイングズ」ケトルズ・ヤード (ケンブリッジ、イギリス)
- 第1部：1月29日–2月24日 第2部：2月27日–3月30日
- 2007 「アニメーションの地政学」アンダルシア現代美術センター (セビリア、スペイン) 2007年9月27日–12月9日；
- 巡回：ヴィーゴ現代美術館マルコ (ヴィーゴ、スペイン) 2008年2月29日–6月1日

「LOW TECH」 Roodkapjeギャラリー（ロッテルダム、オランダ） 5月18日－7月15日

「開館記念〈生きる〉展－現代作家9人のリアリティ」 横須賀美術館（横須賀、神奈川県） 4月28日－7月16日

「水の情景－モネ、大観から現代まで 展」 横浜美術館（横浜） 4月21日－7月1日

「モーメンタリー モーメンタム：アニメイテッド・ドローイングズ」 パラソル・ユニット現代美術基金（ロンドン、イギリス）

3月3日－4月15日

「カット&ペースト ドロウ」 [「Expanding the Frame」展関連企画] ウォーカー・アート・センター（ミネアポリス、アメリカ） 1月25日

2006 「国際交流アーティスト・イン・レジデンス・プログラム」 主催：金沢美術工芸大学; CARK実行委員会 会場：C.A.R.K（金沢、石川）

5月29日－6月17日

「アーティスト・イン・レジデンシー」 LIFT（トロント）

2005 「map of meanings II: 足立智美 石田尚志」 ミュージアム・クォーターウィーン クォーター21;

プラットフォーム ラウム・フュア・クンスト（ウィーン、オーストリア） 8月25日－9月3日

「第6回日本の実験映画（フランス／ヨーロッパ）巡回上映」 フォー・ムーヴマン現代アートセンター（メッス、フランス）

3月16日－5月21日

2004 「生成するエクラン 映像インスタレーションの可能性」 art space kimura ASK?（東京） 2月23日－3月4日

2000 「映像前夜 20世紀末20代の作家たち 上映+展示」 モリスギャラリー（東京） 12月18日－24日

「映像前夜 20世紀末20代の作家たち」 横浜美術館レクチャーホール（横浜） 10月21日－22日

Projects 映画祭等 主な上映歴

2023 「BankART Station Theater 2023 Vol.3 牧野貴 レトロスペクティブ2002－2020」 BankART Station（横浜） 8月25日、30日 * 「光の絵巻」 上映

2016 「IMAGE FORUM FESTIVAL 2016」 （東京、京都） 4月29日－5月6日 * 「部屋／形態」 上映

2015 「Wathan Film Festival」 （ヤンゴン、ミャンマー） 9月9日－13日

「IMAGE FORUM FESTIVAL 2011」 （東京: 4月28日・29日、京都: 5月17日、福岡: 6月7日、名古屋: 6月27日）

2014 「コレクション作品上映会：フィルムからデジタルへ」 愛知芸術センター（名古屋）、8月24日（日） * 「フーガの技法」「椅子とスクリーン」「海の映画」 上映

2013 「牧野貴映画祭2013」 アップリンク（東京）、4月13日（土）－14日（日）

「牧野貴映画祭2013リターンズ」 アップリンク（東京）、5月17日（金）

「第8回UNDERDOX」 ベルクシュタットキーノ（ミュンヘン、ドイツ） 10月14日（月）

2012 「Latitude Festival 2012」 サフォーク、イギリス、7/15（日） * Big Screen, Abstract Animations programにて「絵馬/絵巻2」 上映

「ハンブルグ国際短編映画祭」 ドイツ、5月29日－6月4日 * 「光の絵巻」 上映

「映像芸術祭 MOVING 2012」 京都、4月20日－5月13日 * 「Reflection」 上映

「第50回 Ann Arbor Film Festival」 Ann Arbor（アメリカ） 3月27日－4月1日 * 「部屋 / 形態」 上映

「トリエンナーレスクール <表現の最先端シリーズ> クリエーターもキュレーター」 アートラボあいち（3月3日） * 「海の映画」 上映

「第41回ロッテルダム国際映画祭」（プログラム：WORMyWOOD） ロッテルダム、1月29日 * 「光の絵巻」 上映

2011 「第16回アートフィルム・フェスティバル」 愛知芸術文化センター（名古屋） 11月22日－12月4日 * 石田尚志プログラム

「+2011 in Kyoto」 同志社大学寒梅館クローバーホール（京都） 10月11日 * 牧野貴・石田尚志スペシャルプログラム

「国際実験映画祭25FPS」（ザグレブ、クロアチア） 9月20日－25日 * 「光の絵巻」 上映

「[+]25FPS」 渋谷UPLINK FACTORY（東京） 8月5日 * 「光の絵巻」 上映

「IMAGE FORUM FESTIVAL 2011」（東京：5月2日・4日、福岡：6月3日、京都：6月9日、愛知：6月16日） * 「三つの部屋」 上映

- 「オーバーハウゼン国際短編映画祭」 (ドイツ) 5月8日 * 「海の映画」 上映
- 「第1回こまばアゴラ映画祭」 こまばアゴラ劇場 (東京) 2月23日
- 「Real and Imagined Aurora Picture Show Collaboration with Musiq」 The Hobby Center - Zilkha Hall, Houston(アメリカ) 1月8日
- 2010 「OFF AND FREE INTERNATIONAL FILM FESTIVAL」 (ソウル) 12月9日-15日
- 「Ottawa International Animation Festival」 (カナダ) 10月20日-24日
- 「PLATFORM3 : Raume fur zeitgenossische Kunst / Project spaces for contemporary art」 (ミュンヘン、ドイツ) 2月20日
- 「第39回 ロッテルダム国際映画祭」 (オランダ) 1月27日-2月7日
- 2009 「on the border of cinema and painting: redux」 アップリンク・ファクトリー (東京) 12月19日-22日
- 「ニッポン コマ」 クルトウルジェスト (リスボン、ポルトガル) 12月7日-12日
- 「21.1世紀の音楽会 (アワーミュージック) - 井上郷子ピアノ・ソロ IN 京都」 同志社大学寒梅館ハーディーホール (京都) 12月5日
- 「フィッシュ・アイ 国際実験映画ビデオ祭」 スォーヴォ・チネマ・アクイラ (ローマ、イタリア) 10月15、20日
- 「第28回バンクーバー国際映画祭」 (バンクーバー) 10月1日-16日
- 「一時性における測定-現代日本の前衛映画」 サンフランシスコ近代美術館 (サンフランシスコ、アメリカ) 9月24日
- 「第47回アナーバー映画祭」 (アナーバー) 3月24日-29日
- 「第十四届香港獨立短片及錄像比賽」 香港アートセンター (香港、中国) 3月13日-22日
- 2008 「オーロラ 2008」 ノリッジ・アートセンター; シネマシティ; ノリッジ・アートセンター; プロジェクト・スペース;
ハドソン・アーキテクト; ユニット5 (ノリッジ) 11月12日-16日
- 「第16回チリ国際短編映画祭」 シネ・アルテ・アラメダ (サンティアゴ、チリ) 10月20日-27日
- 「第27回バンクーバー国際映画祭」 バンクーバー国際映画センター他 (バンクーバー、カナダ) 9月25日-10月10日
- 「25 FPS 国際実験映画・ビデオフェスティバル」 (ザグレブ、クロアチア) 9月23日-28日
- 「スプリット映画祭」 (スプリット、クロアチア) 9月13日-20日
- 「第61回ロカルノ映画祭」 パラヴィデオ・シアター (ロカルノ、スイス) 8月16日
- 「第54回オーバーハウゼン国際短編映画祭」 リヒトブルク映画劇場 (オーバーハウゼン、ドイツ) 5月1日-6日
- 「イメージフォーラム・フェスティバル2008」 [巡回展] パークタワーホール (東京)
- [その他、京都、福岡、名古屋、横浜、札幌巡回] 4月27日-10月12日
- 「第37回ロッテルダム国際映画祭」 (ロッテルダム) 1月-2月
- 2007 「ランコントル・アンテルナショナル 2007」 ポンピドゥー・センター (パリ) 他 12月
- 「オーロラ 2007」 (ノリッジ、イギリス) 11月7日-10日
- 「DJぷりぷり & 田村篤史共同究極シリーズ企画「映像作家の超絶視聴覚！」 千駄ヶ谷Loopline (東京) 10月20日
- 「アーティスト・イン・ミュージアム横浜2006 映画上映会 「動く絵」の冒険 越境するアニメーション フィッシングー、荻野茂二から石田尚志へ」 横浜美術館レクチャーホール (横浜) 3月3日・4日・10日
- 「絶景の抽象: 相原信洋、石田尚志 アニメーション作品集」 イメージフォーラム・シネマテーク (東京) 2月10日-11日、17日
- 「第36回ロッテルダム国際映画祭」 (ロッテルダム) 1月24日-2月4日
- 2006 「トロント国際映画祭」 (トロント) 9月7日-16日 [wavelengthsプログラム3]
- 「第25回ヴァイパー 国際フィルム・ニューメディア・フェスティバル」 バーゼル美術館; Stadtkino Basel; バーゼル市立現代美術館; [plug.in];
Gare du Nord (バーゼル、スイス) 3月16日-20日
- 2005 「映画アニメーション冒険史」 明治学院大学白金校舎3201番教室 (東京) 12月3日
- 「25 FPS 国際実験映画・ビデオフェスティバル」 (ザグレブ、クロアチア) 9月21日-25日
- 「EXiS 2005 ソウル実験映画祭」 ソウル・アート・シネマ&スペースセル (ソウル、韓国) 9月7日-12日

- 「『ルーヴル美術館展』開催記念「映画／アート」シリーズvol.2 絵画／映画」 横浜美術館（横浜） 3月5、6、12、13日
- 「第6回日本の実験映画（フランス／ヨーロッパ）巡回上映」〔巡回展〕ル・アーヴル大学（フランス）など 2月28日－3月22日
- 「アーティスト・チョイスーサウンド・ポエトリー、パフォーマンス、ダンス、ビデオ、レクチャー」 クンストラハウス・ドルトムント（ドイツ） 2月25日－27日
- 2004 「第9回アートフィルム・フェスティバル」 愛知芸術文化センター（名古屋） 第1期：11月26日－28日 第2期：12月1日－10日
特別プログラム：12月11日－12日
「イメージフォーラム・フェスティバル2004」〔巡回展〕 ヒルサイドプラザ；パークタワーホール（東京）〔横浜美術館レクチャーホール（神奈川県）；関西ドイツ文化センター京都（京都）；福岡市総合図書館映像ホール・シネラ（福岡）；愛知芸術文化センター（名古屋）に巡回〕 4月24日－6月20日
- 2003 「モントリオール国際フェスティバル ニューシネマ・ニューメディア」（モントリオール、カナダ） 10月9日－19日
「大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ 2003 短編ビデオ・フェスティバル」 越後妻有6市町村（新潟） 7月20日－9月7日
「フーガの技法」 ユーロスペース（東京） 6月14日－；名古屋シネマテーク（名古屋） 8月21日－29日
「イメージズ・フェスティバル」 イニス・タウンホール；プロアーシネマ；ラトヴィアン・ハウス（トロント） 4月10日－19日
「ブレイクスルー：アジアの新しい実験映像」 スミソニアン博物館フリーア・ギャラリー、アーサー・M・サックラー・ギャラリー（ワシントンDC、アメリカ） 1月
- 2002 「ラディカル・イマジネーション—アニメーション映像術—」 世田谷美術館（東京） 12月7日
「トロント国際映画祭」（トロント） 9月5日－14日
「第3回全州国際映画祭」 主催：全州国際映画祭委員会（全州、韓国） 4月26日－5月2日
- 2001 「第6回アートフィルム・フェスティバル」 愛知芸術文化センター（名古屋） 12月6日－16日〔「フーガの技法」プレミア上映〕
「第21回ヴァイパー 国際フィルム・ニューメディア・フェスティバル」 シアター・バーゼル（バーゼル、スイス） 10月24日－28日
「山形国際ドキュメンタリー映画祭2001」 山形市中央公民館；山形市民会館；ミュージズ；ソラリス；山形県遊学館（山形） 10月3日－9日
「第31回タンペレ国際映画祭」（タンペレ、フィンランド） 3月7日－11日
「日本の実験映画第4回フランス巡回」 ストラスブール近代現代美術館他（ストラスブール、フランス） 3月3日
- 2000 「レティナ国際映画祭」（ハンガリー） 10月
「第廿四届香港国際電影節」 主催：康樂及文化事務署（香港、中国） 4月12日－27日
- 1999 「映像アートフェスティバル1999 映像アートへの招待 New Vision—新たな視覚の創造」 北海道立釧路芸術館・アートホール（北海道） 10月23日－31日
「第18回バンクーバー国際映画祭」（バンクーバー、カナダ） 9月24日－10月10日
「イメージフォーラム・フェスティバル1999」〔巡回展〕 パークタワーホール（東京） 4月24日－5月5日；キリンプラザ大阪（大阪） 5月8日－16日；横浜美術館レクチャーホール（横浜） 5月2日－5日；福岡市総合図書館映像ホール・シネラ（福岡） 6月2日－6日；ICA（ロンドン） 9月3日－9日
- 1997 「第9回調布フィルムフェスティバル1997」 文化会館たづくり（調布、東京） 11月21日－23日〔第1回実験映画コンペティション入選〕
- 1996 「サイト映像祭」（東京）
「アートアニメーションフェスティバル」（東京）
- 1994 「神奈川県映像コンクール」（神奈川）〔入選〕

映像提供・舞台美術

- 2007 「RENKU 水都孤遊」 宗次ホール（名古屋） 12月4日〔映像：石田尚志〕

- 「現代詩フェスティバル2007～環太平洋へ～」 世田谷パブリックシアター（東京） 4月21日－22日〔詩：野村喜和夫、映像：石田尚志〕
- 2005 「関さなえソロダンスVol.3 [BのNo.7 あるいはデュオ]」 ギャラリーマキ（東京） 12月7日－10日
- 2004 「UA “SUN” 2004全国ツアー」 石川厚生年金会館（石川） [他全国13カ所] 5月－8月〔VJ：生西康典、掛川康典〕
- 2000 「朗読パフォーマンス『風の配分』」 セッションハウス（東京）〔詩：野村喜和夫〕
- 1998 「能美健志／ダンスアクト21 公演『空白』」 三軒茶屋パブリックホール（東京） 4月

ライブ・ドローイング／パフォーマンス

- 2021 「コレクション展 BLUE」〔石田尚志 x 足立智美〕金沢21世紀美術館（石川）10月16日
- 2016 「リニューアルオープン記念 前夜祭」〔ライブ・ドローイング：石田尚志、音：藤本由紀夫、照明：山本圭太〕
高松市美術館エントランスホール（香川）3月25日
- 2015 「第20回アートフィルム・フェスティバル」愛知芸術文化センターアトスペースA（愛知）12月5日
「坂道を辿って（Ⅱ）～詩と絵画をめぐる対話～」〔石田尚志、矢口哲男 他〕KIYOKO SAKATA studio（沖縄）10月2日
「ミュージック・トゥデイ・トウキョウ・2015」〔石田尚志 x Nerhol〕Gallery 916（東京）8月6日
「ライブ・ドローイング／横浜絵巻」〔ドローイング／ペインティング：石田尚志、OJUN、小林正人〕横浜美術館（神奈川県）5月5日
- 2014 「石田尚志、OJUNによる越冬ライブ：光線」府中市美術館（東京）1月25日
- 2013 「第5回 恵比寿映像祭 パブリック・ダイアリー」東京都写真美術館（東京）2月8-24日
「ライブ・イベント／石田尚志《反復する部屋～間奏》」2月17日
- 2011 「MOTコレクション関連企画 Ciné オペラシオン 吉増剛造x石田尚志」東京都現代美術館・講堂（東京）9月10日
- 2008 「映像をめぐる7夜」〔第1夜「反復する壁」音楽：足立智美、映像／ドローイング：石田尚志〕東京都写真美術館（東京）
2月21日－24日、28日－31日
- 2007 「映像作家徹底研究 5. 画狂展 画狂ライブ 天才と狂人の狭間“画狂”対決!! 相原信洋VS石田尚志」 SuperDeluxe（東京）2月24日
- 2006 「横浜美術館開館記念日ミュージアム・フェスタ」横浜美術館（横浜）11月3日〔声・赤外線シャツ：足立智美 ドローイング：石田尚志〕
「石田尚志 ライブ・ペインティング」アップリンク・ファクトリー（東京）2月12日〔音楽：石田匡志、足立智美〕
- 2002 「第50回武蔵大学白雉祭オールナイトポエトリーリーディング」武蔵大学（東京）11月3日〔詩：吉増剛造、映像：石田尚志〕
「イベントーク Part10 J.S.バッハ『フーガの技法』をめぐる」会場：愛知県芸術劇場小ホール（名古屋）1月30日
〔映像：石田尚志、チェンバロ：中野振一郎、詩：吉増剛造〕
- 1999 「アーツバースデイ」（東京）〔音楽：足立智美、映像：石田尚志〕

Public collections

- 愛知県立美術館（名古屋、愛知）
- 沖縄県立博物館・美術館（那覇、沖縄）
- 高松市美術館（香川）
- 東京都現代美術館（東京）
- 東京都写真美術館（東京）
- 豊田市美術館（豊田、愛知）
- トレド美術館（オハイオ、アメリカ）
- 森美術館（東京）

横浜美術館（横浜、神奈川）

Awards 受賞・奨学金

- 2016 「アートフェア東京2016」 第9回ペーコンプライズ 受賞
- 2015 「Nissan Art Award 2015」 ファイナリスト
- 2011 「7th 25FPS」 グランプリ（Tanja Vrvilo賞） 審査員特別賞 * 「光の絵巻」（牧野貴との共作）
- 2009 「ボイジャー/エイトスカラシップ」 アーツイニシアティヴ トウキョウ
- 2008 「第16回チリ国際短編映画祭」（サンティアゴ） 最優秀現代実験映画賞
- 2007 「第18回 五島記念文化賞」 美術部門受賞
- 2003 「イメージズ映画祭」（カナダ） ベスト・インターナショナル・フィルム・アワード受賞
- 2000 「第4回アート公募2000」 審査員賞受賞
「レティナ国際映画祭」（ハンガリー） 第2位受賞
- 1999 「イメージフォーラム・フェスティバル」 一般公募部門 特選受賞